



購読料 年8,000円
送料共 但し、会員
は会費に含まれる

発 行 所

京都府保険医協会
〒604-8162 京都市中京区烏丸通
蛸薬師上ル七観音町637 第41長栄
カーニープレイス四条烏丸6階
電話 (075) 212-8877
FAX (075) 212-0707
編集発行人 久保 佐世

主な内容	
被災者の予防接種で要望	(2面)
代議員会議長決まる	(2面)
綴喜医師会と懇談	(3面)

ご用命はアミスまで

- ◆医師賠償責任保険
- ◆休業補償制度
(所得補償、傷害疾病保険)
- ◆積立傷害保険
- ◆自動車保険・火災保険

上記事業は(有)アミスが
取扱いしています。
☎075-212-0303

専門医会長との懇談会を開催

各科の診療報酬要求等をきく

京都府保険医協会は専門医会長との懇談会を3月19日に開催。専門医会から13人、協会から9人が出席した。①協会役員の改選、②協会に寄せられた審査相談の傾向等、③2010年度審査に関するアンケート調査結果、④各科別の医療費の動向、⑤社会保険研究会・診療内容向上会の開催について担当理事が説明を行い、各専門医会からは各科の昨年改定の不合理部分、医療機関への影響、次回改定への要求などについて意見・要望が出された。

懇談の冒頭、関理事長が東日本大震災による犠牲者に対して「哀悼を祈るとともに、被災者・被災地への救援募金活動を協会として

も行った。一刻も早い復興を願っていると挨拶した。各専門医会からは以下

の意見と問題点が報告された。

【胸部】呼吸器の理想的治療を行おうとすると、包括点数のために経営面で赤字になる医療機関もある。きちんとした呼吸器管理ができるような診療報酬にしてほしい。

【小児科】小児科外来診療料は検査をすればすぐに飛んでしまうぐらいの点数なので、点数を引き上げてほしい。小児の在宅医療問題も協会として考えてほしい。

【外科】前回改定では手術点数が上がったのは、外保連の要求の力によるもの。京都府外科医会の組織として診療報酬の具体的な要求を外保連にあげていき

たい。

【産婦人科】産婦人科医として、まとまった要望・意見は今のところはない。

【耳鼻咽喉科】前回改定では耳鼻咽喉科に関連する常用点数の引き下げが行われ

るもの。京都府外科医会の組織として診療報酬の具体的な要求を外保連にあげていき

【皮膚科】皮膚科の摘出術をしても創傷処置の算定に

しかならないので別に点数項目を作ってほしい。また、1000ml未満の皮膚科軟膏処置が基本診療料に含

まれたが、復活してほしい。

【泌尿器科】前回改定で内視鏡関連の手術点数は上

がったが、機器メーカーが儲かっているだけではない

か。また最近、泌尿器科に属しているが、手術の割合が高く、外科の中では

【形成外科】形成外科は外

科に属しているが、手術の割合が高く、外科の中では

主張

入院患者の他医療機関受診取扱いが、この取り

1年が経った

が、この取り

病院にない科、例えば近く

の眼科や耳鼻科を受診する

ことも容易ではない。

病院は診療情報提供書に

多くの情報を記載して受診

態も原因になっている。そ

入院患者の他医療機関受診取扱い 許し難い受診抑制の撤廃を

させなくてはならず、入院

の形態によっては薬剤の処

方も制限されるのが一因

で、その手続きは病院、受

診する医療機関ともに複雑

生労働省の狙いどおり機能

医療費削減の面では、厚

会までご連絡をいただきました

池上直己氏(慶應義塾大学医学部 医療政策・管理学教室教授)が語る 皆保険制度成立の意義と歴史



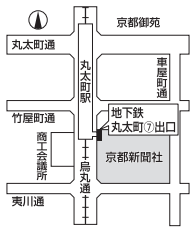
世界保健機構(WHO)は2010年度版の年次報告で、世界の全ての国に国民皆保険制度の必要性を説き、日本はその成功例だと紹介しています。しかし今、その制度が揺らいでいます。

成立から50周年を迎えた今年、なぜこの国で国民皆保険が成立したのか、改めてその歴史と意義を振り返り、考えたいと思います。

講師 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授 池上 直己氏

日時 6月11日(土) 午後2時30分～4時40分(開場2時)

場所 京都新聞文化ホール(中京区烏丸通夷川上ル 京都新聞社7F)



参加費 無料

共催 京都府保険医協会

後援 京都府歯科保険医協会

後援 京都新聞社

申込先 京都府保険医協会

皆保険 50周年講演会

要申込 定員150人

平均点数が高くなるため、指導の対象になりやすい。平均点数ではなく総額点数で考えてほしい。

【糖尿病】インスリンを投与してない患者の治療で、血糖試験紙を使うことによりコントロールできる

【麻酔科】前回改定を踏まえ、コストを積み上げて要望を出している。学会から診療報酬アンケートが来て

まとめているところである。

【消化器】非アルコール性脂肪肝炎においてフェリチンやヒアルロン酸などの検査を診断として、また治療として点滴療法を診療報酬上認めてほしい。緊急内視鏡加算の新設、慢性胃炎でのヘリコバクター・ピロリの感染診断と除菌治療への保険適応を拡大してほしい。

【形成外科】形成外科は外科に属しているが、手術の割合が高く、外科の中では

ので、広く認めてほしい。医療費削減の観点からも有効である。

【透析】透析患者は毎年増加傾向である。鉄欠乏性貧血の診断基準が最近厳しくなったが、透析点数がそう

なっている自治体もあるが、まだ京都では含まれていないなどの意見・要望が出された。

協会からは、前回改定はプラス改定といながら、診療所ではそれほどアップしていない。この日出不

た意見も踏まえて、中医師会や厚労省に要望を出してきたい。また、京都における審査では、基金・国保の審査委員会とも保険者攻勢の防波堤になっていると考

えている。医療機関と審査委員との交流がもう少しあったらとも考えるので、協会の活動・企画を活用していただきたい、と伝えた。本日の各専門医会からいただいた意見・要望は、今後の運動に活かしていきたいと伝え、懇談会を終了した。

医 界	寸 評
-----	-----

リエモン氏の「想定内」という言葉が流行った。今は「想定外」という文字が飛び跳ねている。三重苦(地震・津波・放射能)による想定外の被害。あの黒いアメーバーのような津波が全てを飲み込んでいく映像は筆舌に尽くし難い。テレビ史上最悪の残酷な映像だ。人間が生きてるため、研鑽が積み重ねられてきたが、あの地震津波は関係なく尊い人命を飲み込んでいった。我々現代の日本人は、地震や津波の規模を想定内に置き換え、原子力発電所の脆弱性も事故後の影響力も想定内にしていた。だから後で「想定外」だと慌てふためく。これは見方によれば、人災とも言える。自然に対する冷徹なまでの想定・畏怖の念が薄らいでいたことは否めない。太平洋戦争の敗北は最大の国難だった。でも日本は甦った。相手は人間だった。「国破れて山河あり」と杜甫は詠ったが山河壊れて人命が失われても国土は滅びない。この未曾有の災害は私達に無数の教訓を与えた。人間の小ささ、知恵などは微々たるもの。今回の多くの被害者の方達の苦しみを無にしてはならない。京丹後の木村次郎右衛門さんが世界一の長寿者(114歳)になられた。翁の座右の銘は「苦にするな、嵐の後に日和あり」。嵐は長く引くが、日和を信じ辛抱一致で頑張らなくてはならない。我々は自然の中で生きなければならぬのだ。国民の力が試される。助け合おう日本！ (名)

理事会
アピール
東日本の地域医療の再建のために

2011年3月11日の東北地方太平洋沖及び長野県北部の地震、津波により、東日本は大きな被害を受けました。特に太平洋沿岸を襲った津波は医療機関及び医療従事者を飲み込み、我々の仲間の多くが命を奪われ、行方不明となっております。

被災地への医療従事者の長期派遣など、国の責任
による迅速かつ十分な施策の策定・実施求む

辛うじて残された医療機関には被災した患者が多数搬送され、身を寄せています。現場の医療従事者が、自らも被災者であるにも関わらず、休みなく従事している様子が報道されています。しかし、被災地の患者

また、西日本からも、医師会や保険医協会の主導により、休診又は休日返上して被災地に赴く開業医や、医療機関から派遣されて赴く勤務医がいます。しかし、他府県からの自主的な援助にも限界があります。

「2008年度医師・歯科医師・薬剤師調査の概況」によれば、東北6県及び東京都を除く関東6県における人口10万対医師数は全国平均を下回っています。震災以前より厳しい状況にあった地域医療の

被災者の予防接種で要望

府内市町村の状況も調査中

東日本大震災を受け、居住の市町村で定期予防接種を受けることが困難な被災者については、避難先の市町村で予防接種を受けることになる。この取扱いについては、厚生省から各都道府県宛に、「東北地方太平洋沖地震に伴う予防接種の取扱いについて」として、避

難先市町村に予防接種実施の特段の配慮を願う通知が出されているが、もともと市町村が実施主体であることもあり、取扱いに差異がある状況と考えられる。これを受け、協会は、現状把握のため、各自治体へのアンケート調査を実施。並行して「震災被災者への

予防接種に関する緊急要望書（4月20日付）を国、および京都府宛と府内市町村宛に送付した。要望書では、被災された方々への定期接種・任意接種ともに、全額国庫負担により無料とすること。被災された方々への予防接種すること、を要望した。

は、医療機関における被災者からの申し出をもって、居住地の市町村から依頼があったものとみなせるように徹底すること一を求めた。

2011年4月26日

京都府保険医協会
第21回定例理事会

を政府に求めます。

一、国の責任により、被災地の医療機関が求める医師、看護職員、その他医療従事者の長期に渡る派遣を、負担を偏らせることなく実施できる施策を迅速に策定・実施すること

一、国の責任により、被災した医療機関再建のための迅速かつ十分な公的助成を行うこと

政府、財務省、厚生労働省、衆参両国会議員などが、関係各方面におかれましては、ぜひ上記の実現のため、ご努力いただくことをお願いします。

保険診療



末期がん患者の訪問看護費用について

Q、在宅で療養する末期がんの患者に対して、当医院の医師が週1回訪問診療を行うとともに、訪問看護ステーションから週3回の訪問看護を実施。当医院で

はC003在宅末期医療総合診療料を算定しています。訪問看護の費用は、ステーションから訪問看護料を請求されています。

今月、どうしても訪問診療が行えず、訪問看護だけ

税務記帳講習会

～経営内容の把握は正確な記帳から～

自院の経営内容を正確に把握し、適正な確定申告をするための基礎資料は日々の記帳です。どんなに優秀な税理士に依頼していても、適切に記帳できていなければ経営状況を正確に見ることはできません。本講習会では、なぜ記帳が経営を把握するために必要となるか等、記帳の基本について解説し、実際に記帳練習も行います。

日時 5月12日(木) 午後2時～4時
場所 京都府保険医協会・会議室
講師 山口 稔 税理士
内容 記帳の基本と意義、金銭出納帳・銀行帳の作成、記帳練習
持ち物 筆記用具、電卓
協賛 有限会社アミス

第640回 社会保険研究会

感染制御の真髄 ― 感染症診療と感染対策 ―

講師 京都市立病院機構
感染症内科部長 清水 恒広氏
日時 5月14日(土) 午後3時～5時
場所 京都府保険医協会・会議室
主催 京都府保険医協会

〈清水先生からのメッセージ〉 感染制御とは、医療施設内で感染症を生み出さないようにすること、また広げないようにすること、その両方を含みます。前者は非感染症と感染症をきちんと切り分けて診断し、中でも、治療が必要な細菌感染症のみに、抗菌域が最も狭い抗菌薬を必要十分量、必要十分期間だけ投与し、適切に治療を終了することで達成されます。薬剤耐性菌が生まれにくく新たな感染症が出現しにくくなるからです。一方、インフルエンザウイルス、結核菌、MRSAなど、施設内には毎日種々の病原微生物が流入します。これらを施設内で広げないために感染対策が必要です。施設内での感染制御に必要なこの両輪につき、わかりやすく解説したいと思います。

※参加は無料、事前申込は不要です。
※審査委員会日よりと日医生涯教育講座の受講証を出席会員にお渡しします。
※この研修会は、医療法上年2回義務付けられている無床診療所の院内感染防止対策のための職員の外部研修となり、参加者には参加証を交付します。

環境講演会 ～福島第一原発事故を受けて～

原発の本当のコストとエネルギー政策の方向性

原発を建設することによって、その地域に『経済的効果』を生み出すというのは、本当でしょうか。また、今回の福島第一原発事故のように、常に不安や恐怖と隣り合わせのエネルギーがないと私たちは生活できないのでしょうか。放射能汚染や風評被害といった事故に伴う国民の経済的損失は、一体どのくらいなのでしょう。今講演では現在の原発と原発に替わるエネルギーについて、経済学の視点から考えていきたいと思います。

講師 大島 堅一氏(立命館大学国際関係学部教授)
日時 5月21日(土) 午後2時～4時30分
場所 登録会館(烏丸通御池上ル)
参加費 無料
共催 京都府保険医協会 京都府歯科保険医協会

楽しく・わかりやすく・ためになる！

新しく医療機関に勤められた方のための研修会

研修は2日に分けて、1日目は接遇マナー初級編、2日目は医事紛争に至らないための医療従事者としての心構え、保険請求の基礎知識の解説を行います。大変ご好評をいただいている研修会です。お申し込みは協会事務局までお願いします。また、申込み後にキャンセルする場合もご連絡をお願いします。

<1日目>
5月11日(水) 午後2時～4時
「医院・診療所での接遇マナー研修・初級編」
元日本航空客室乗務員 茂木 治子氏
<2日目>
5月26日(木) 午後2時～4時
①「医事紛争から見た医療従事者としての心構え」
保険医協会医療安全対策部会理事 林 一資
②「知っておきたい保険基礎知識(請求留意事項)」
保険部会事務局
場所 京都府保険医協会・会議室
対象 新入職員、研修会はじめての方
協賛 有限会社アミス

開業に必要な情報が盛りだくさん!!

新規開業予定者のための講習会

度重なる診療報酬マイナス改定や患者負担増加で、開業から経営が黒字化するまでの期間が以前に比して長くなるようになってきています。このような状況下で開業を考えておられる先生方を対象に、講習会を開催します。講師は、増患対策やスタッフ雇用対策で定評のある河原義徳社会保険労務士です。スタッフの雇用問題は経営に直結します。優秀なスタッフを採用し、その能力を発揮してもらうための雇用管理は医院の立ち上がりに大きく影響すると言っても過言ではありません。

日時 5月28日(土) 午後3時～6時
場所 京都府保険医協会・会議室
内容 ①始めが肝心! スタッフ雇用の留意点(ひろせ税理士法人/株式会社ひろせ総研 特定社会保険労務士 河原 義徳氏) ②先輩開業医からのアドバイス ③地区医師会への入会手続き、保険医協会の共済制度について
参加費 会員:無料、非会員:2,000円(定員:30人)
共催 有限会社アミス

ジャズを楽しむ会

日時 6月18日(土) 午後6時～8時
(開場:5時30分)
場所 「ル・クラブ・ジャズ」(中京区三条御幸町西北角 ありもとビル2階、☎075-211-5800)
演奏 ジャズバイオリンの魅力
入山ひとみ(vln) 角田浩(org) 井上弘道(ts) 斎藤洋平(ds)
参加費 5,000円(フリードリンク・軽食付)、要申込(先着40人)
※終了後セッションタイムあり(8時以降セッションタイムの飲食代は各自負担)、楽器を演奏される方はご持参下さい(備考欄に楽器等をご記入下さい)
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用下さい。
※ご家族・従業員の方の参加も歓迎します。
主催 京都府保険医協会
協賛 有限会社アミス 京都府歯科保険医協会

綴喜医師会と懇談

3月5日 京田辺市保健センター

現場置き去りの国提案を疑問視

協会は3月5日、綴喜医師会との懇談会を開催した。地区から9人、協会から5人が出席し、綴喜医師会・河村宏庶務担当理事の司会で進められた。

同会・岡林正純会長は、「政治情勢、医療情勢が目まぐるしく変化している。協会からは、医師会とは別の切り口で諸々の医療の問題点を説明いただきたい。我々は別の角度から見た問題点を理解し、今後の地域医療に役立てたい」と挨拶があった。

地区からのテーマである、地域包括ケアが話題の中心となり、それを支えるための看護・介護職員の役割拡大について意見交換。在宅医療に携わる綴喜地区の医師から、「看護師と医師では視点が違う。急変時に急に呼ばれても困る」とい



14人が出席して開かれた綴喜医師会との懇談会

改定版 医療安全対策の常識と工夫

37

このシリーズを通して、医事紛争の事後対応のみならず、その周辺についてもお話ししてきました。あらためて言うまでもないことですが、医事紛争に遭遇することは医療従事者にとって、あらゆる面で消耗を伴うものです。それから、二度とその紛争については考えたくもないというのが当事者の本音ではないでしょうか。しかしながら、こ

で我々が期待するのは、その経験を無駄にしないということ。同じく、困難なものに立ち

トラブル経験は日常診療の肥やしとして

うことです。トラブルが起こったからこそ学べるものもあると思われま

日常診療がしつかりしているなか、少

解が述べられた。

地区から、「どこに働き

かければ医療改善要求を理解してもらえ

か」との疑問が出され、これに対し協会から、「地道ではあるが、国会へ出向

き、議員との折衝を繰り返すことが重要」との認識を示し、加えて「医系の国会議員は、超党派で我々現場の声にきちんと耳を傾けて

いただいている」と説明。国会議員の折衝の場にご参加いただけるよう協力を求めた。

最後に、池崎総副会長から、「まもなく介護と医療の同時改定が行われる。それまでに我々の現場の意見を踏まえて、よりよい医療の実現に向けて尽力して

いただきたい」と挨拶があり、閉会した。

記者の視点

4

「がんばろう」が多すぎてへきえる。日本は強い国とか「日本の力を信じてる」というのは、いったい誰に向けたメッセージなのだろう。被災者には「がんばらなくていいインシ」と言いたくなる。

必要なのは、努力を促す言葉や自己満足の標語ではなく、当面の最低限の暮らしを支えつつ、悲しみに寄り添うこと、生活再建の展望を示すこと、そして当事者でないがしろにして物事を決めないことだろう。

阪神大震災があった1995年、首都圏の人々の関心は2カ月後に起きた地下鉄サリン事件をきっかけにオウム真理教へ移ってしまった。住宅再建への援助を求める声は「個人資産の形成に公費は投入できない」として切り捨てられ、復興資金はもっぱら道路や港湾などのインフラや公共施設、産業の再建に注がれた。

その後、被災地住民らが運動を重ねた結果、被災者生活再建支援法が98年に議員立法で制定され、以後の災害では都道府県が出した基金をもとに支援金を給付することになった。当初100万円だった金額は制度の拡充で現在、全壊で最大300万円になっ

読売新聞大阪本社編集委員 原 昌平

ている(国が2分の1補助)。阪神の時よりはましたが、それで家を建て直せる人がどれだけいるだろう。

津波では建物だけでなく土地ことやられていて、同じ場所には建てられない。元の住まいからそう遠くない所に、安全な住宅用地または復興住宅を提供することが、本当に助けるかどうかの試金石になるだろう。生活面では雇用を失う人もいる。

困難に直面した人々に政府は、社会は、どれだけのことをしてきたのか。公的保険に穴は開いていないか。精神面を、人間を大切に

助け合う社会へ作り変える

あわせて日本の社会全体のありようも考え直さないといい。防災・減災対策の強化、原子力政策の根本的な見直しはもう

は、社会は、どれだけのことをしてきたのか。公的保険に穴は開いていないか。精神面を、人間を大切に

を、人間を大切に

どう生きるかへの熱い想いが



恋する お尻 医者
渡辺 元治 著 2011年3月
かもがわ出版 1,400円＋税

が関わってきた運動の大きさと深さに圧倒される。とともに、多くの人々との出会いに深く感動し、絶えず成長し続けてきた人間・渡辺元治の偉大さの片鱗に触れることになる。ある芸術家の言葉を思い出さす『感動』ってのはね、『落さ』なんです。自分の生

私のすすめるBOOK

また渡辺元治先生にお会いできた。と言っても両の足はついていない。彼の書き溜めた随想やさまざま

な集会でのあいさつ、医学部時代の回想や、ご家族への想いなど、人間をこよなく愛して生き抜いた渡辺元治先生の遺稿集である。

また『恋する お尻 医者』というそのネーミングと本の装丁に驚かされる。キュービッドが後ろ向きで小さなお尻をむけ先端に

本を読み進めるうちに彼

「私のすすめる…」本・映画(DVD)・音楽(CD)等、新旧ジャンルを問わず、心に残った作品紹介をご投稿下さい。800字以内。掲載後、記念品を贈呈します。

